

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価実施マニュアル**

滝川市教育委員会

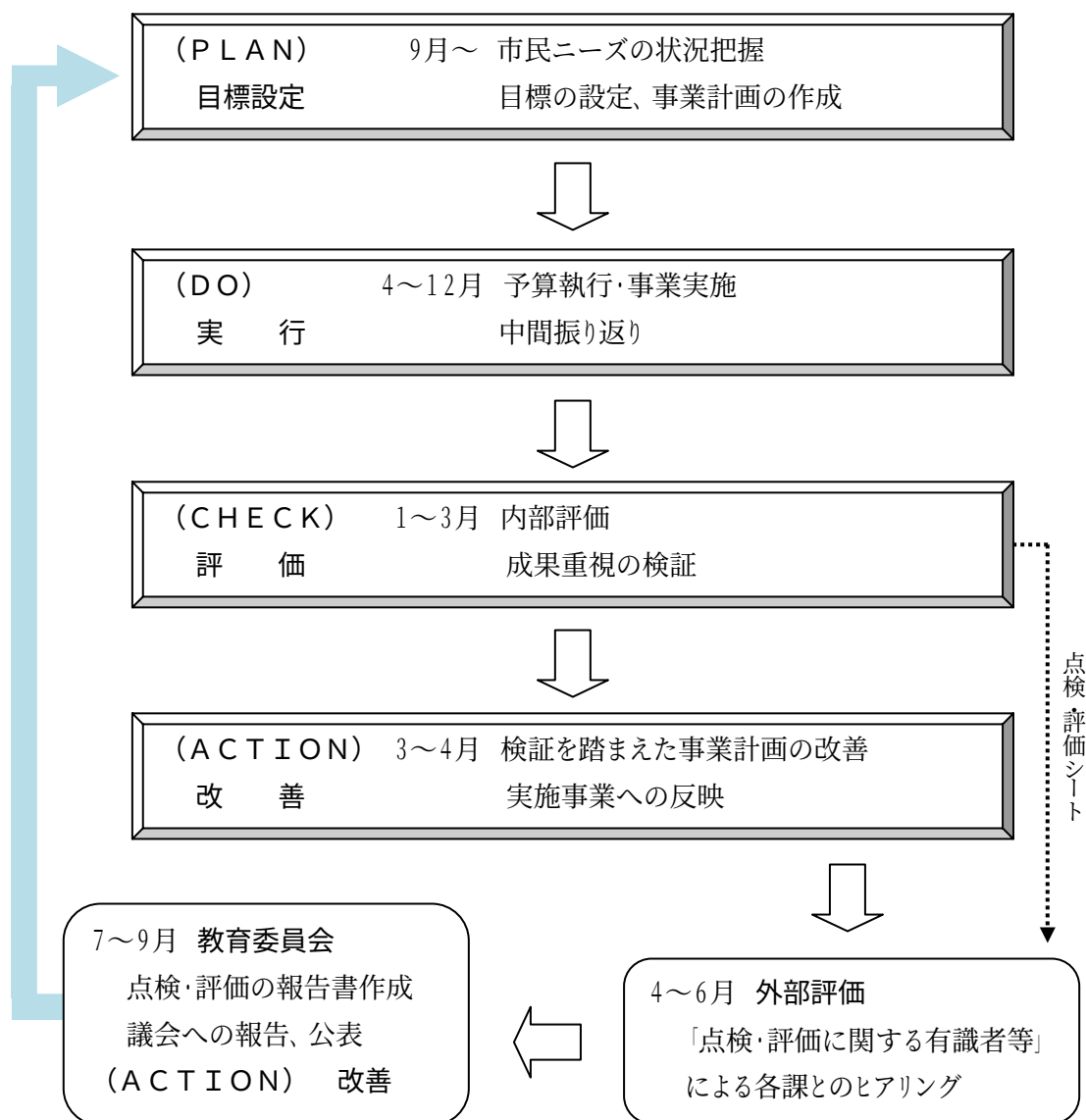
1 点検及び評価実施の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正を受け、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、市議会の所管常任委員会に提出するとともに、公表しなければならないこと、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

今回の改正は、点検及び評価について公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨から行われます。

2 点検及び評価実施によるPDCAサイクル

通年で行う業務を除いて、原則、4月から12月までに事業・事務を実施し、1月から3月までに検証を行い、次年度に検証結果を反映します。



3 点検・評価の流れについて

(1)点検・評価のための3つの視点

点検・評価に当たっては、次の3つの視点を持って進めます。

①市民等の視点

市民やサービスの受け手、関係する企業や団体などの公的サービスに対するニーズの多様化や変化を的確に把握し、迅速に対応できているか、お客様の視点に立って仕事のあり方を見直します。

②コスト削減の視点

事業費や従事する職員の人件費などの経費を含めて全体経費を把握し、効率的・効果的な執行が図られているかどうかを点検します。

③職場活性化の視点

職員が自らの仕事のあり方について評価することで、仕事を客観的に見つめ直し、コスト意識やサービス精神の改善につなげるとともに、一人ひとりが組織目標を常に考え、柔軟で効率性を考えた取組を進めます。

(2)点検・評価シートの活用

事業・事務の成果を分析・検証するために点検・評価シートを作成します。点検・評価の対象となる施策・事業は「滝川市教育推進計画」に記載されているものが中心となります。なお、事務費のみで構成されている事業は対象とはしませんが、改善の余地があるものは、積極的に改善してください。

(3)点検・評価シートを用いた外部評価の実施

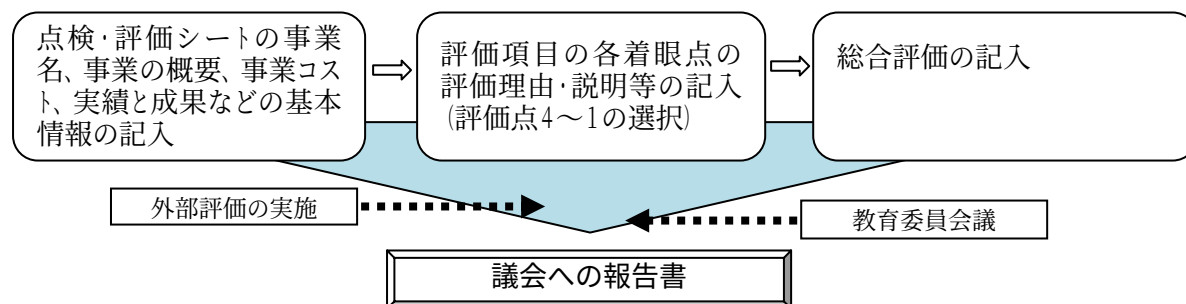
主管課長が作成した点検・評価シートに基づき、学識経験者と各課とのヒアリングを実施し、内部評価に対して客観的な意見を述べてもらいます。

(4)点検・評価の報告書作成

内部評価並びに外部評価をまとめた、点検・評価シートを報告書案として教育委員会の会議に付議し、市議会の所管常任委員会に提出する報告書を作成します。

4 評価の方法について

(1)点検・評価のあらまし



(2)項目別評価

事業の成果を測定するとともに課題を把握し、より良い事業の展開に向けた改善へとつなげていくため、以下の4つの評価項目について、8つの着眼点により評価を行います。

①評価項目等の一覧

評価項目		項目の説明	着眼点 (各4点満点)
1	適応性	現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。また、必要な場合でも、市が行う必要があるのか、他の実施主体は考えられないのか、役割分担は適切かどうかを評価します。	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。
			②事業を市が行う必要性があるか。
2	有効性	目的を達成するために最も効果的な手法、内容、実施水準となっているか、他の方法がないかを評価します。また、この事業は施策や運営方針、その他本市で策定した各種計画・プラン・指針等の目的の実現のどの程度寄与しているかを評価します。	③事業の目的に照らして効果的な手法か。
			④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。
3	目標達成度	これまでの経過や他都市の水準などと比較して、目標の設定水準が適切かどうか、事業の目的を達成するために最適な目標かどうかを評価します。併せて、その目標の達成状況を評価します。	⑤目標の水準は適切か。
			⑥計画通りに目標を達成できたか。
4	経済効率性	事業のコストがかかり過ぎていないか、最小の軽費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率化が図られないかを評価します。	⑦コストは縮減しているか。
			⑧事務は効率的に行われているか。

②着眼点の評価

着眼点評価	着眼点に即した取組
4	十分できている
3	できている
2	あまりできていない
1	できていない

(3)総合評価

評価項目の得点を合計し、100点満点に換算して、ランクが5段階で自動的に表示されるので、以下のランクを参考に、複数の評価項目に関連するコメント、課題・問題点などについて総合的な評価を行います。

〔総合評価のランク〕

ランク	評価点	内 容
A	86 以上	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	71～85	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	56～70	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
D	41～55	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である。
E	40 以下	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

4 評価シートの作成手順

(1)事業番号及び事業名

事業項目一覧表を参照し入力してください。

(2)評価実施者

所属名と職・氏名を入力してください。

(3)事業の概要

- ①開始年度～事業の開始年度を入力してください。
- ②根拠法令等～事業を行う根拠となっている法律や政省令、条例・規則・要綱などを入力してください。
- ③特定財源～特定財源がある場合に入力してください。
- ④実施方法～該当する項目にマークしてください。
- ⑤目的～何のために当該事業を行っているのか、事業実施により何をどうしたいのか、将来的なあるべき姿はどのような状態なのかなどを記入してください。
- ⑥事業内容～⑤の目的の実現や目標の達成に向けて実施した、具体的な内容について記入してください。

(4)事業コスト

- ①事業費、一般財源、人件費を年度毎に入力してください。
(人件費は平均給与、職員 6,598 千円、嘱託 1,564 千円を使用して下さい。)
- ②特記事項～特記すべきことがある場合に入力してください。

(5)実績と成果

- ①事業の実績～数値化できるものはその項目と単位、年度毎の実績を入力してください。
- ②事業の成果～数値化できるものはその項目と単位、年度毎の実績を入力してください。
- ③数値化できないものは実績・成果を簡潔に入力してください。

(6)評価項目

- ①適応性、有効性、目標達成度、経済性・効率性について、着眼点に基づき4段階で評価してください。
- ②総合評価～①の評価を踏まえ、事業の課題等を入力し、今後の方向性について該当する項目にマークしてください。

(7)外部評価

学識経験者による各課とのヒアリングを行い、結果を入力します。

5 議会への報告書について

点検・評価シートに基づき作成された報告書案を教育委員会議で協議し、議決後に市議会の所管常任委員会に提出するとともに、滝川市教育委員会のホームページなどに公表し説明責任を果たします。

6 点検及び評価に係る様式集

平成 19 年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価シート 事業番号

事業名		評価実施者		所 属														
				職・氏名														
事業の概要	開始年度	根拠法令等					特定財源											
	実施方法	☐ 直接 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕																
	目 的																	
	事業内容																	
事業コスト	区 分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	特 記 事 項											
	事業費(A)						※単位：千円											
	うち一般財源																	
	人件費(B)																	
	総コスト(A)+(B)	0	0	0	0	0												
実績と成果	区 分	単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果										
	事業の実績 (アウトプット)	1																
		2																
		3																
	事業の成果 (アウトカム)	1																
		2																
		3																
	評価項目	1	適応性	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察														
				①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1														
		②事業を市が行う必要性があるか。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																
2		有効性	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1															
			④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1															
3		目標達成度	⑤目標の水準は適切か。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1															
			⑥計画通りに目標を達成できたか。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1															
4		経済性 効率性	⑦コストは縮減しているか。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1															
	⑧事務は効率的に行われているか。 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																	
総合評価	合計	0	ランク	上記評価を踏まえた事業の課題														
	↓	/32	(A～E)															
	100点換算	0		☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持														

◎外部評価

評価項目	点数	判 定					点検・評価に関するコメント				
1 適応性		①	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	合計 ↓ 100点 換算 /100	0 0			
2 有効性		②	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1					
3 目標達成度		③	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1					
4 経済性効率性		④	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1					
		⑤	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	ランク				
		⑥	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1					
		⑦	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1					
		⑧	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1					

教育に関する事務の管理及び執行の状況の報告書

事業年度	H19
------	-----

事業番号		事業名	
実施事業の総括	ランク	内 容	
	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている	
	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている	
	C	一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある	
	D	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である。	
	E	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である	

事業の目的	
事業の内容	
事業の実績と成果	

事業の課題等 取り組みの方向性	
--------------------	--